

—— 「環境的に持続可能な交通」の
実現に向けた取組みの表彰 ——

EST 交通環境大賞



EST (Environmentally Sustainable Transport : 環境的に持続可能な交通) は、OECD (経済協力開発機構) が提案した政策ビジョンで、運輸部門における環境負荷の削減、とりわけ脱温暖化社会を目指した長期的・継続的な取組みです。

2020年には、わが国が2050年までにカーボンニュートラルを目指すことが宣言されるなど、近年、ますます環境対策の推進が求められています。

EST普及推進委員会*では、わが国におけるESTの更なる普及のためには、地域で交通環境対策を実践している団体(自治体、企業、市民団体等)の優れた取組み事例を**発掘し、広く紹介**することが重要と考えています。そこで、2009年度に「**EST 交通環境大賞**」を創設し、優れた取組みの功績や努力を表彰しています。

※ EST普及推進委員会とは、ESTの普及推進を目指して、関係省庁、交通事業者及び学識経験者等が委員として参加し、2006年度から公益財団法人交通エコロジー・モビリティ財団(エコモ財団)に設置されている委員会です。

主催：EST普及推進委員会、公益財団法人交通エコロジー・モビリティ財団

後援：国土交通省、警察庁、環境省、一般社団法人日本自動車工業会、公益社団法人日本バス協会、一般社団法人日本民営鉄道協会、一般社団法人全国ハイヤー・タクシー連合会

EST 環境的に持続可能な交通（EST）を目指して

現在、国内の多くの地域で「環境に優しい交通」実現に向け、様々な主体が取組んでいます！

公共交通の利用促進



エコカーの普及、
エコドライブの浸透



自転車・歩行者の増加



過度な自動車利用の削減、
モビリティ・マネジメント（MM）

EST 交通環境大賞について

概要

- ◆ 募集内容：地域の優れた交通環境対策の取組み
- ◆ 応募資格：自薦 ▶ 自治体、企業、またはNPO等[※]の団体であること
※自治会等の任意団体も応募可能
他薦 ▶ 地域の交通環境対策に関する有識者
本表彰制度では、複数の団体による応募や協議会での応募を奨励
- ◆ 賞の種類：大賞：最も優れている地域の交通環境対策の取組みを表彰【国土交通大臣賞、環境大臣賞】
優秀賞：大賞に準じて優れていると評価される取組みを表彰
奨励賞：地域に根ざし日々努力を重ねている団体の功績に対する表彰
個別取組みで顕著な成果を上げているものを表彰
- ◆ 審査の基本方針：
 - 中長期的な視野で環境問題を考えた場合、これから重要となることが予想される交通環境対策であること
 - 「環境、経済、社会」の各側面に関する持続可能性への配慮に努めている交通環境対策であること
 - 自治体、交通事業者、地域住民やその他関連する団体等と適切に連携している交通環境対策であること



EST 過去の受賞団体の声

第12回
優秀賞

小山市コミュニティバスおーバス
利用促進プロジェクト実行委員会

小山市コミュニティバス「おーバス」 利用促進プロジェクト

小山市では、過度なマイカー利用から公共交通への転換を促す取組みを多々行ってきており、全国の事例の一つになればと応募した結果、優秀賞を受賞しました。

受賞を実績として広くPRしたこと等により、小山市における公共交通の重要度が高まり、小山市地域公共交通計画で、計画的な増便等を位置付けることができました。今後も取組みを継続して実施していくことで、環境負荷の削減等にも寄与していきたいと考えております。



第11回
大賞

[国土交通大臣賞]

株式会社伊予鉄グループ

IYOTETSU チャレンジ「サステナブルな ECO 社会の構築を目指して！地方からの挑戦」

公共交通は ECO 社会の実現に向けて実に多くの面で貢献できます。

伊予鉄グループでは「利用していただくことこそが最も ECO につながる」というシンプルですが高い目標をもって、様々な取組みをしてきました。

「大きなことを1つ」ではなく、小さなことを続けること。それら取組みが重なった時に、ECO 社会の実現が一步近づくのではと期待しています。

2023年1月、伊予鉄バスにEVバスを導入しました。カーボンニュートラルは全世界の喫緊の課題です。時代に合った、必要な存在であり続けるため、挑戦し続けたいと思います。



第11回
大賞

[環境大臣賞]

東急電鉄株式会社、
株式会社東急パワーサプライ

世田谷線 CO₂ 排出ゼロへの取組

世田谷線という路線全体で再生可能エネルギー 100%での運行開始により、本賞の受賞やご利用のお客さまからの好評だけでなく、社会的にも大きく注目いただきました。

その後、2022年4月には日本で初めて全線再生可能エネルギー由来の電力にて運行を開始し、大口の再エネ需要の創出や沿線の環境機運の醸成に寄与したと考えていますが、環境施策に終わりはなく、更なる取組みの推進が必要だと感じています。



第10回
優秀賞

大分市

環境にやさしい交通で にぎわいのあるまちづくり

本市では、持続可能な交通体系の確立を目指し、中心市街地循環バス、自動運転車両の実証運行、シェアサイクル実証実験など、様々な取組みを行っていることから応募いたしました。

この受賞が、本市の交通政策を全国に発信する絶好の機会となりました。

その後、シェアサイクルポートの拡大や市内3地域でのグリーンスローモビリティの本格運行など、市民や交通事業者と協働で地球環境への負荷軽減に資する取組みを進めています。



EST 過去の受賞団体と取組み

| | 賞 | 受賞団体名 | 主な取組みの名称 |
|------|-------------|--|--|
| 第13回 | 大賞【国土交通大臣賞】 | T-PLAN 株式会社、 一般社団法人姫島エコツーリズム | 離島の課題に再エネと小型EVを活用した取り組み |
| | 大賞【環境大臣賞】 | 鹿追町 | 「家畜ふん尿由来水素」を核としたESTモデル事業 |
| | 優秀賞 | 世界遺産石見銀山大森地区におけるGSMを中心とした地域内交通整備事業コンソーシアム | 世界遺産石見銀山大森地区におけるグリーンスローモビリティ（GSM）「ぎんざんカート」の運行 |
| | 奨励賞 | 奥入瀬渓流利用適正化協議会、 奥入瀬渓流エコツーリズムプロジェクト実行委員会 | 奥入瀬渓流エコツーリズムプロジェクト |
| | 奨励賞 | 城崎温泉交通環境改善協議会 | 地域一体となった「そぞろ歩きルール」の実施 |
| | 奨励賞 | 和歌山県 | WAKAYAMA8∞ ～サイクリングを活用した、持続可能な観光地づくり～ |
| 第12回 | 大賞【国土交通大臣賞】 | YKK株式会社 | 富山県黒部市における社員通勤変革への挑戦 |
| | 優秀賞 | 小山市コミュニティバスおーパス利用促進プロジェクト実行委員会 | 小山市コミュニティバス「おーパス」利用促進プロジェクト |
| | 奨励賞 | 道南バス株式会社、室蘭市 | 官民一体で進める路線バス利用促進と環境まちづくり |
| 第11回 | 大賞【国土交通大臣賞】 | 株式会社伊予鉄グループ | IYOTETSU チャレンジ 「サステナブルなECO社会の構築を目指して！地方からの挑戦」 |
| | 大賞【環境大臣賞】 | 東急電鉄株式会社、株式会社東急パワーサプライ | 世田谷線CO ₂ 排出ゼロへの取組 |
| | 優秀賞 | 新潟市、新潟交通株式会社 | 新バスシステム導入を契機とした持続可能な交通システムへの展開 |
| | 奨励賞 | 人・地域・地球にやさしいアクセスのための ファジャーノプロジェクト実行委員会 | ファジウォーカープロジェクト |
| | 奨励賞 | SAKURA MACHI DATA Project | 熊本県内バス電車無料化社会実験と検証 |
| 第10回 | 大賞【国土交通大臣賞】 | 小豆島地域公共交通協議会 | 環境にやさしい小豆島の持続可能な公共交通再生への挑戦 |
| | 大賞【環境大臣賞】 | みんなと湊まちづくりネットワーク・会津若松市 | 再エネとICTを活用した中山間地域で持続的に支えあう交通づくり |
| | 優秀賞 | 大分市 | 環境にやさしい交通でにぎわいのあるまちづくり |
| | 奨励賞 | 豊田市エコ交通をすすめる会 | 豊田市における20年以上にわたる交通需要マネジメント施策の継続的展開 |
| | 奨励賞 | 湖東圏域公共交通活性化協議会 | 湖東圏域における複数市町連携による公共交通利用促進と利用者増加に向けた10年間の取組 |
| | 奨励賞 | 災害時公共交通情報提供研究会 | 平成30年7月豪雨災害後のリアルタイム交通情報提供システムの構築及び実装 |
| 第9回 | 大賞【国土交通大臣賞】 | WILLER TRAINS 株式会社および北近畿タンゴ鉄道 生活交通改善事業計画に関する協議会 | 人と環境にやさしい地域鉄道を目指す京都丹後鉄道の取り組み |
| | 大賞【環境大臣賞】 | 福井県クルマに頼り過ぎない社会づくり推進県民会議 | クルマに頼り過ぎない社会づくり |
| | 優秀賞 | 姫路市 | 公共交通を中心とした姫路市総合交通計画の取り組み |
| | 奨励賞 | 株式会社桐生再生、株式会社シンクトゥギャザー、 群馬大学、桐生市 | 環境に優しい低速電動バスの開発とその普及の取り組み |
| | 奨励賞 | 弟子屈町地域公共交通活性化協議会 | 弟子屈こパスポート事業 |
| | 奨励賞 | 川崎市 | 環境負荷低減に向けたエコ運搬制度の推進 |
| 第8回 | 大賞【国土交通大臣賞】 | 金沢市 | 交通によるまちづくりの実現に向けて |
| | 大賞【環境大臣賞】 | 近鉄グループホールディングス株式会社 | 近鉄グループの連携を活かした総合的環境取組み |
| | 優秀賞 | 松江市公共交通利用促進市民会議 | 「とっでもお得バス利用事業」「松江市一斉ノーマイカーウィーク」ほか |
| | 奨励賞 | 一般社団法人でんき宇奈月プロジェクト | 宇奈月温泉における低速電気バスの運行による地域交通づくり |
| | 奨励賞 | 姫島エコツーリズム推進協議会 | 新たなモビリティの普及の研究と事業化 |
| | 奨励賞 | 特定非営利活動法人アースライフネットワーク | ふじのくに「エコde安全」ドライブ促進コンソーシアム事業 |
| 第7回 | 大賞【国土交通大臣賞】 | 仙台市 | 仙台市における環境負荷低減に向けた公共交通推進の取り組み |
| | 大賞【環境大臣賞】 | 南海電気鉄道株式会社 | 南海電鉄中期環境目標 |
| | 優秀賞 | 京成バス株式会社 | 京成バスの「3S運動」 |
| | 奨励賞 | 秦野市 | はだの交通スリム化に向けた取り組み |
| | 奨励賞 | 電気自動車等を活用した 伊勢市低炭素社会創造協議会 | おかげさま Action! ～住むひと、来たひと～ |



■ 最新の情報は
EST ポータルサイト
(<https://www.estfukyu.jp/>)
をご覧ください。

■ 本件に関するお問い合わせ先：ご不明点などはお気軽に担当までご相談ください。
EST 普及推進委員会事務局
(公益財団法人交通エコロジー・モビリティ財団)
TEL : 03-5844-6268 E-mail : EST@ecomor.jp